

 南房総市社会福祉協議会広報紙

てんだあ 第40号

『てんだあ』とは英語で「やさしさ」という意味です。 2017年4月

〒295-0004 千葉県南房総市千倉町瀬戸2705-6 TEL (0470) 44-3577/FAX (0470) 44-3542
ホームページアドレス <http://www.shakyo-minamiboso.or.jp>



C ONTENTS ~主な内容~

- 第11回南房総市社会福祉大会 2P・3P
- 福祉作文…………… 4P・5P
- 福祉ニュース…………… 6P
- 共同募金報告…………… 7P
- ボランティアネット(和)ーク…………… 8P
- ワンポイント介護…………… 9P
- 善意の寄付、お知らせ…………… 10P

子どもも大人も劇にくぎづけ

第4回南房総市ボランティアまつりで、丸山地区のボランティア団体「人形劇団ころころ」が人形劇を上演しました。

人形劇の人形はすべてボランティアの手作りで、子どもから大人まで楽しいひとときを過ごしました。



こでまり
花言葉：友情



この広報紙は、共同募金の配分金によって発行しています。



「つながりから始まる地域のささえあい」 目指して

第11回 南房総市社会福祉大会を開催

第11回南房総市社会福祉大会が2月11日（土）三芳農村環境改善センターにおいて開催されました。

「住民参加によるふれあい・支えあいのある心豊かな福祉のまちづくり」の実現を目指して、地域の皆様とともに社会福祉の充実に向け一層の推進を誓いました。

また、社会福祉活動にご尽力され功績のあつた方々への表彰と感謝状の贈呈、赤い羽根募金箱コンクール作品の表彰、市内小中学校・高等学校の児童・生徒からの心温まる福祉作文の発表に続き、記念講演が行われました。

また、市ボランティア連絡協議会主催「第4回南房総市ボランティアまつり」も同時開催されました。市内から多くの登録団体が出展し、大盛況でした。



地域福祉活動功労団体の表彰

表彰された皆様おめでとうございます

南房総市社会福祉協議会長表彰（敬称略）

【地域福祉活動功労者】

西森高明、嶋田 颯、渡邊公明、川名淳代、鈴木武男、佐野佳代子、平野美恵子、高橋宏子、村井嘉代子、後藤中一、大河内 久、根本正義、渡邊 覺、伊丹美智子

【地域福祉活動功労団体】

クラブJR（富山地区）西崎周社中（千倉地区）、おたよりボランティア（和田地区）

南房総市社会福祉協議会長感謝状（敬称略）

【個人】佐野美智子（白浜地区）、中山嘉久（富山地区）、池田幸雄（和田地区）

【団体】（有）明日香交通（三芳地区）、演歌塾・丸山（丸山地区）、

南房朝市組合（丸山地区）

【福祉作文コンクール優秀作品表彰】

小学生の部

最優秀賞 泉 優樹（和田小）

優秀賞 忍足さや（富山小） 加藤日葉理（三芳小）

優良賞 野村啓太（南小） 内城 晶（南小）

池田海颯（富浦小）

中学生・高校生の部

最優秀賞 長谷川葉里（嶺南中）

優秀賞 野村美帆（嶺南中） 小滝 睦（千倉中）

優良賞 座間 楓（富山中） 星野優希（白浜中）

平野修豊（白浜中）



福祉作文コンクール小学生の部表彰

赤い羽根募金箱コンクール優秀作品表彰

最優秀賞



加藤陽菜(三芳小)

小学生
高学年の部

最優秀賞



高梨陽大(富山小)

小学生
低学年の部

優秀賞



山本彩加(和田小)



柴田美玲(富山小)

優秀賞



岡田卓也(千倉小)



若王子結奈(富山小)

優良賞



柴田悠稀(富山小)



安田知央(千倉小)

優良賞



押足奈南(三芳小)



鈴木姫輝(千倉小)

記念
講演

最後まで安心して住み慣れたところで
暮らせる地域にしていくなために！

弁護士・公益財団法人さわやか福祉財団会長

堀田 力氏

『地域の居場所ので生まれるふれあい・いきがい』と題し、弁護士で公益財団法人さわやか福祉財団会長でもある堀田力さんにお話をいただきました。
「居場所とは人と人が繋がる場所、誰でも気楽に行けてそこで繋がる場、人と人が繋がって話して共感して、地域で困った人が何とかしてほしい、または自分が困った時に助けてもらう、そういう助け合いが生まれる場、居場所での繋がりが地域の助け合いの基本である。」と話されました。

また、「ただ繋がるだけではなく、その場にいることによって、いろいろな助け合いが生まれ、自分を活かせるということが、居場所の大切なことである。」とされていました。

居場所に行つて、人を楽しませる特技や「ありがとう、あなたがいるから楽しいよ。」と言つてもらう感謝の言葉がうれしくて、頑張つて頑張つてやつていくうちに、自分の力で動けるようになってた方が全国にいるという例をユーモアを交えながらお話されました。

最後に、皆さんの住んでいる地域に居場所があることによって、助け合いが広がっていく、居場所を拠点にしながら最後まで安心できる温かい人間関係を作り上げていくことが大切だと教えていただき、改めて居場所の大切さが伝わった講演でした。



地域の居場所は助け合いの場

育まれる、福祉の心、福祉作文コンクール最優秀作品

市内の児童・生徒の皆さんが体験した「おもいやり、たすけあいの心」をテーマとした作文396編もの応募があり、その中から選ばれた最優秀作品を紹介します。

最優秀賞

《小学生の部》

「今のぼくにできること」

南房総市立和田小学校

3年 泉 優樹

福祉ってとてもむずかしいこと
弱い人やこまっている人を助
けること
とてもぼくにはできない

今まではそう思っていました。
でも今では、人に対してやさし
い気持ちを持つことが福祉だと思
います。

「ゆうちゃん、ゆうちゃんはやさ
しい子だねえ、いつもいろいろ
がんばっていてえらいねえ、
ひいばあ、うれしくて長生きし
ちやうよ。」

ぼくの家には、九十三才のひ
いおばあちゃんがいます。この
言葉は、ひいおばあちゃんが、
ぼくに話しかけてくれるうれし
い口ぐせです。ぼくは、今まで
福祉ということを考えたことが
ありませんでした。でも、ひい
おばあちゃんが入院した時、ひ
いおばあちゃんの部屋は空っぽ

で、いつもあたり前に聞いていた
うれしい口ぐせが聞けなくな
って、とてもさびしくなりま
した。そんな時、一さつの本
と出会ったのです。その本は
『ずーっとずーとだいすきだよ』
という本です。『主人公のぼく
と犬のエルフィーは小さいころ
からいっしょに育って、家族み
んなエルフィーが大好きだっ
た。でも、兄さんや妹はエル
フィーに好きって言ってやらな
かった。言わなくてもわかると
思っていたから。エルフィーが
死んでぼくは悲しかったけど、
気持ちはずっとだ。だって毎
日、エルフィーに
「ずーっと、だいすきだよ。」っ
て言ってやっていたからね。』
この本を読んだ時、ぼくはひい
おばあちゃんに自分の気持ちや
思いを全然、伝えていないと思
いました。言わなくても、ぼく
がひいおばあちゃんから言うて
もらっている言葉がとってもう
れしくて、ひいおばあちゃんが
大好きってことは、わかっ
てくれると思っていました。ぼ
くはあせりまくりました。

「ひいばあ、帰ってくるかなあ。
このまま病院から帰ってこな
かったらどうしよう。ぼくが、
ひいばあを大好きってこと何に
も伝えていない。やさしいひい
ばあに、ありがとう、大好きっ
て言えばよかった。」
一週間して、ひいおばあちゃん
は退院し家に帰ってきました。
それからのぼくは、ひいお
ばあちゃんのよろこぶことって
何だろう？と、考えるようにな
りました。そしてひいおばあ
ちゃんは耳の聞こえがあまりよ
くないので、ありがとうと大好
きの気持ちを手紙にしました。
ひいばあへ
いつもぼくに「いい子だねえ。」っ
て言うてくれてありがとう。マ
マにしかれた時もひいばあは
「ゆうちゃんはいいい子だよ。」っ
て頭をなでてくれてありがとう。
ぼく、ひいばあにはおこら
れたことないね。ひいばあが入
院して、とてもさびしかったよ。
もう病気をしないでね。いつも
ぼくたちのそばにいてね。ぼく
は、やさしいひいばあが大好き
です。長生きしてね。



福祉作文小学生の部
最優秀賞 泉 優樹さん

そして、ひいおばあちゃんは、
ぼくと弟のことが大好きなの
で、時間のある時は、ひいおば
あちゃんの部屋でテレビを見た
り、遊んだりするようにしまし
た。ぼくと弟がそばにいただけ
で、幸せ、とてもうれしいとよ
ろこんでくれます。
今のぼくにできること
「どうしてほしいのかな？」
と、友だちの声に耳をかたむけ
ること周りにいる人が、あたた
かいうれしい幸せな気持ちにな
るように考えて行動すること
自分の周りにいる家族や和田
小のみんなと日常で出会う、い
ろいろな出来事に、相手の気持
ちを考えて、それに対して、自
分の出来ることを見出して行動
していくこと、そしてみんなが
幸せになることが福祉なのだ

最優秀賞

《中学生・高校生の部》

「ボランティア」の力

南房総市立嶺南中学校

3年 長谷川 菜里 はせがわしおり

私は、今まで「ボランティア」という言葉を聞くと、積極的に活動してくださる地域の方々の仕事だと思っていました。「自分からやってみよう。」という気持はうすく、そういう時間はもつと他の事に使いたいと思っていました。しかし、そんな私の心を変えたのは一人のおばあちゃんの優しい言葉でした。

私は、昨年の夏休みに福祉ボランティアに参加しました。最初は、「友達がやるから私もやってみようかな。」という軽い気持ちでした。

ボランティア体験一日目は、「ボランティア」を知るために市内で活動している方々の体験談を聞きました。私は「ボランティア」というと高齢者の方々のためというイメージがとて大きかったけど、私達の登下校の見守りをしてくれているボランティアの方々がいたり、イベントを開催して子供から高齢者まで、地域全体を活性化させてくれるボランティアの方々もいるのだと分かりま

した。一人一人のお話を聞いていると、「誰かのために自ら進んでする活動はとてもすばらしい」という気持ちが伝わってきました。私は、そんな気持ちを受けて今まで自分に見えていなかったものが見えたような気がしました。

ボランティア体験二日目は、実際に高齢者施設へ行き、活動しました。最初は、上手くコミュニケーションがとれず、何を話せばよいかも分からずに戸惑いばかりでした。しかし、介護士の方々は全てを上手にやるうとしないで、相手のペースに合わせて気軽にコミュニケーションをとっていました。私は、全てをていねいに完璧にやろうとしていたけど、ボランティアというものは人と人との温かい繋がりが合いが重要なのだと分かりました。私も、介護士の方々を真似てやってみたものの、やはり思い通りにはいかなかったけれど、恥ずかしさや固い緊張感を捨て、相手を思いやる気持ちを大切にして活動ができました。昼食も食べ終わり、ボランティア体験も終わりに近づいてきた時には私はもう、ボランティアの楽しさや人のために活動ができた嬉しさをかみしめていました。そんな気持ちを心に抱いている中、一

人のおばあちゃんが私にこう言ってくれました。

「中学生が来てくれると、とても明るくなって楽しいからまた来てね。」

私は、この優しい言葉を聞いて

「ああ、やって良かったなあ。」と無意識に思いました。そのおばあちゃんからもらった折り紙にもたくさんのお思いが込められている気がして、とても大切にしています。

私は、中学最後に「ボランティア」という貴重な経験ができてとても嬉しかったです。「ボランティア」は決して、報酬がもらえるわけではありません。しかし、その分経験を得たり、自分の心も相手の心も温かくできるのだと知識を広げられたり、自分だけ働いてマイナスになるような事は決まらずに思えます。なぜなら、「ボランティア」は人と人々が助け合って、相手を思いやりながらするものだと思っただけです。一つの輪のように、プラスとプラスで繋がり合う世界を大切にしていくなきだと考えます。そのために、「相手にしてあげる。」ではなく、「相手のために自分ができることを。」という姿勢でボランティアに取り組む事が重要です。

私は、今までの経験を含めて私達に今、何ができるのか考えていきたいです。学校でのエコキャップ運動も私達が気軽に参加できる「ボランティア」の一つです。私は、最近まで「エコキャップがどうしてワクチンになるのだろう。」とキャップを募金しても使われる道は分からないままでした。しかし、詳しく調べると、キャップの売却益で得たお金で寄付する事を知りました。今まで、どう使われるかわからないまま寄付してきたけど、ボランティアも同じようにしっかりと理解した上で参加すれば、もつと一人一人が意欲的に活動できると思います。「ボランティア」に対して、まず勉強から始めて、小さな事から一つずつ相手のためにできる事を考え、自分も成長していく「ボランティア」は人と人へと繋ぐなくてはならないのだと思いました。



福祉作文中学生・高校生の部
最優秀賞 長谷川 菜里さん

FUKUSI NEWS



みんなでアイデアを出しながら

午後からは、南房総市災害ボランティアセンター運営マニュアルを用いて、災害ボランティアセンターの運営について理解を深めました。

今回の講座は、現在登録していただいている「災害ボランティア」のみなさんに、企画から携わっていただき実施できました。今後、地域のみなさんと一緒に実施していきたいと思ひます。

1月21日

身近にあるもので災害対策！

災害ボランティア養成講座

今回の災害ボランティア養成講座は、いつ起こるかかわらない災害に備え、身近にあるもので災害対策ができることを知ってもらい、災害に対しての意識を高めることを目的に開講しました。震災など予期せぬ災害の直後、トイレ不足が深刻になりました。

そこで今回は家庭でもあるダンボールで「簡易ダンボールトイレ」をグループに分かれ製作しました。

思い思いに工夫されたトイレが完成し、グループごとに災害時のトイレ事情や防災対策などを話し合いました。

福祉ニュース

このコーナーは、地域福祉に関するニュースやお知らせを紹介します。

1月25日

つきたてのお餅は おいしいね♪

ふれあい交流もちつき大会



元気な掛け声で「よいしょ、よいしょ」

三芳3地区社会福祉協議会とボランティア連絡協議会三芳支部合同で、地域にお住いの高齢者と三芳子ども園4・5歳児の祖父母を

招いて、毎年恒例となった「もちつき大会」を開催しました。

初めて餅つきを見た園児たちから「お米だったのにお餅になった。」と驚きの声も聞こえました。

おじいちゃん・おばあちゃんと力を合わせて一緒についたお餅はとても柔らかく、園児たちは喜んで食べました。

もちつき大会のあと、園児たちからのお礼として、高齢者の方々と一緒に手遊びをしました。

園児たちのかわいい手に、おもわず笑顔がこぼれました。

1月27日

高齢者の足となる安全・安心な移送サービスをめざして

移送サービス安全運転者
フォロアアップ講習会

南房総市社会福祉協議会では、高齢者や障がい者への事業として移送サービスを実施しています。日頃の安全・安心な移送サービスを励行するため、毎年運転協力ボランティアを対象に講習会を実施しています。

今回は南房総市の交通政策係、交通マイスターでもある巖田氏から、南房総市公共交通空白地における公共交通機関との関係を踏まえながら、社会福祉協議会で実施する移送サービスの役割についてのお話しを伺いました。福祉的な目線だけではなく、公共交通の空白を埋める一助として実施する役割があり、他の公共交通機関との関係やあり方など移送サービスを実施する上での注意点を確認しました。

また、最近では高齢者の運転事故が多いため、保険会社の目線から「どのような時に事故が多いのかまたその事故を防ぐにはどのような運転をこころがければよいのか」等の話を伺いました。

今後とも安全・安心な移送サービスを目指して取り組んでいきたいと思ひます。



安全・安心を心がけます

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金に ご協力ありがとうございました



● 赤い羽根共同募金 6,773,090円 ● 歳末たすけあい募金 6,676,680円

10月からの赤い羽根共同募金、そして12月からの歳末たすけあい募金では、市民の皆様から多くのあたたかい善意をお寄せいただきました。

行政区を通じての戸別募金をはじめ、市内の商店街や会社、各学校の児童・生徒の皆さん、各種団体やボランティアの方々など多くのご協力をいただきありがとうございました。

赤い羽根共同募金は、千葉県共同募金会をとおして次年度南房総市の地域福祉活動へ配分され、また歳末たすけあい募金は、南房総市共同募金会配分委員会において審議し、支援を必要とする方や施設へ民生委員さんを通じお届けしました。

赤い羽根共同募金でこのような事業も行われています。

歳末たすけあい街頭募金では、地域の中学生の協力をいただき、多くの募金が集まりました。



鄙の里

富楽里

潮風王国

子供たちの福祉育成を目的とした福祉映画の上映会を開催しました。当日は、社協のマスコットキャラクター「みなみん」とのふれあいもあり、たくさんの子供たちに囲まれ大人気でした。



みなみん
ふれあい映画
上映会

社会福祉協議会の会員募集

ご協力ありがとうございました。

- 一般会費
12,290,340 円
- 賛助会費
774,000 円
- 特別会費
780,000 円

(平成 29 年 2 月末現在)

平成28年度社会福祉協議会会員募集に際しまして、多くの市民の皆様からのご協力をいただきありがとうございました。また、行政区の区長様はじめ役員関係者の皆様には会費納入にあたりご協力をいただき感謝申し上げます。

ご協力いただきました会費は、平成28年度の地域福祉・在宅福祉の充実、ボランティア育成等のために有効活用させていただきました。

社会福祉協議会は、これからも市民の皆様、関係諸機関や団体の皆様とともに、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる福祉のまちづくりに精一杯努めて参りますので、今後とも温かなご支援・ご協力をお願い申し上げます。



ボランティア
連協

第4回南房総市 ボランティアまつり開催

第4回ボランティアまつりには多くの方々にご来場いただき、盛大に終了することができました。感謝申し上げます。

このボランティアまつりは、回を重ねる度に内容も充実してきました。手作り作品の紹介やパネル展示、また人形劇や絵本の読み聞かせ、訪問活動で披露する手話やダンス、日本舞踊の発表など、地域の多くの方々に日頃の各地区のボランティア活動をご紹介できたのではないかと思います。

ご来場の皆様も楽しんでいただくとともに、何よりもボランティア活動を通して主催する私たちボランティア自ら楽しく仲間と交流し、このボランティアまつりに取り組みました。

更なる充実に向けて私たちボランティアも取り組んでいきたいと思います。

今後とも皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



日本舞踊の発表



どんぐりアート



ボランティア
連絡協議会
バザー

南房総市ボランティア連絡協議会

南房総市ボランティアまつり実行委員長

伊勢田 照子

広がれ!

ボランティアが活動をレポート

南房総市内では、いろいろな技術や知識を持ったボランティアグループが活動しています。ここでは、ボランティアグループから届きました、活動レポートをご紹介します。

ボラ登録更新の
お知らせ

市内で福祉活動をしている ボランティアさんを応援!

4月1日
から

平成29年度ボランティア登録の受付が始まります

南房総市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、市内で福祉活動を展開しているボランティアの育成とその活動を支援するため、平成29年度のボランティア登録の受け付けを行います。(すでに登録されている個人・団体の方も、更新の登録が必要となります。)

登録には、一定の要件を満たすことが原則となっていますが、登録をされた場合、下記の支援が受けられます。ぜひこの機会に登録をお願いします。

◎登録すると・・・

- ① 社会福祉協議会が契約しているボランティア活動保険への加入
- ② 社会福祉協議会が発行する情報誌等への活動内容の掲載や活動に関する相談助言
- ③ ボランティア活動助成金の交付
- ④ 社会福祉協議会ボランティアセンターへ登録した各団体同士の情報交換や交流

登録を希望されるボランティア(個人・団体)の方は、南房総市社会福祉協議会(本所)または、所属する各福祉サポートセンターで登録の手続きができます。



ホームヘルパーの ワンポイント

かいGO 介護

お肌のお手入れ

お肌はカサカサですか？

寒い季節になると、気になるのがお肌の「乾燥」です。だんだんと年を重ねると、皮脂の分泌や水分を保つ力が低下し、「老人性乾皮症」などお肌のトラブルを引き起こしやすくなります。



お手入れの方法

- 石鹸分のすすぎ残りは、接触皮膚炎の原因となるので十分に洗い流しましょう。
- 入浴後に保湿剤を、しっかりこまめに塗りましょう。
- 保湿剤は、肌に合うものを選びましょう。

問い合わせは

- 南房総市社会福祉協議会
ホームヘルプサービス ☎29-5021
- 南房総市社会福祉協議会
ケアプランセンター ☎29-5022



1月24日

おいしいコーヒーを飲んでリラックス ●介護者のつどい●

介護に追われる毎日の中で、ほんのひとときでも「ほっと」してもらえることを目的に、今回は三芳「くまカフェ」のオーナー安藤泉さんを迎え、自宅でもできるおいしいコーヒーの入れ方やコーヒーの健康効能を教わりました。参加した一人ひとりがコーヒーを入れてみて、「入れ方によってこんなに味や香りが違うんですね。」と感想が聞かれました。

安藤さんからは、お母様の介護をされたお話やユーモアあふれるお話で、和やかな時間を過ごしました。

介護でお困りの方は一人で悩まず一緒にしませんか？次回、お待ちしております。



美味しく入れるにはコツがありますよ

募集

ご家庭で眠っている食品大募集！

フードドライブ《食品の募集》



第16回フードドライブ

平成29年5月15日(月)～ 6月30日(金)まで

ご家庭で不要な食品があればぜひ寄贈ください。いただいた食品は「フードバンクちば」が責任を持って福祉関連施設へ、支援団体などを通じて生活に困窮している方にお配りします。皆様のご協力お待ちしております。

* ご注意頂きたい点 *

- ①賞味期限が明記され、かつ2カ月以上あるもの。
- ②常温で保存が可能なもの。
- ③未開封であるもの。
- ④破損で中身が出ていないもの。
- ⑤お米は平成27・28年度産のもの(玄米可)

第14回フードドライブにご協力 ありがとうございました

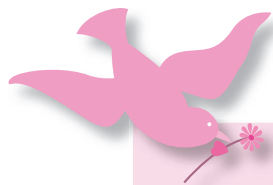
平成28年9月に食品を募集したところ、南房総市では、146.5kgの食品が寄せられました。

特に今回は多くのお米が集まり、本会の利用だけではなく、県内の子ども食堂への支援もでき、喜ばれています。

生活に困っている方への支援としては、食事は生活力の回復への大きな力となります。引き続きご協力をお願いします。



【受け取り窓口】南房総市社会福祉協議会(本所)または、お近くの福祉サポートセンターへ



たくさんのまごころ
ありがとうございます。

善意の寄付

敬称略/平成28年12月～平成29年2月

千倉ゴルフクラブ	63,800円
(株)おどや	35,972円
白浜ゴルフ部	21,484円
和田中昭和27年3月卒業生	28,855円
富山賢吾会	33,655円
鋸南ロータリークラブ	30,000円
南房朝市組合	28,900円
館山法人会青年部会	57,500円
舞花カラオケ愛好会	20,000円
匿名 6件	100,134円

第4回南房総市ボランティアまつりで ご協力いただいた方々のご寄付

びわダイニング	400円
ステーションそら	500円
ふれあい喫茶「なごみ」	1,000円
茶香会	1,000円
なみはらっこくらぶ	1,000円
平館むつみ会	1,000円
ランチサービスちくら	2,000円
もみじ会・オレンジの会	5,000円
南房総市ボランティア連絡協議会	1,271円

この寄付金は、本会福祉振興基金に積み立て、以後地域福祉向上のため有効に役立たせていただきます。
ありがとうございました。

お知らせ

紙おむつを給付します

南房総市内に在住し、在宅で日常生活のほとんどに介護を必要とする方に紙おむつを給付します。

○紙おむつ給付事業

対象者	・1日中ベッド上で過ごされ日常のほとんどに介護を要する要介護認定3・4・5の方
	・身体障害者手帳1級・2級の方
	・精神障害者保健福祉手帳および療育手帳をお持ちの方
品目	紙おむつ 尿取りパット フラットタイプの内1品目

○高齢者介護用品支給事業

対象者	・65歳以上で要介護4・5の方、介護をしているご家族 ※要介護高齢者の属する世帯全員が前年度市民税非課税の世帯
品目	紙おむつ 尿取りパット 紙パンツ ※1回あたり25,000円以内

申込期限/平成29年4月28日(金)まで

給付月/平成29年6月

申込先/南房総市社会福祉協議会各福祉サポートセンター

問い合わせ先/南房総市社会福祉協議会(本所)

または、お近くの福祉サポートセンターへ

無料法律相談

～法律に関することでお悩みの方～

時間/午後1時～午後4時

予約・問い合わせ先 ☎44-3577(本所)

開設日	場 所	担 当
4月27日(木)	ちくら介護予防センター	弁護士
5月25日(木)	和田地域福祉センター	司法書士
6月22日(木)	とみうら元気倶楽部	弁護士

○事前予約申込：随時電話にて予約を受け付けます。

○定 員：6人(相談はおひとりにつき30分まで)

○その他：調停中や裁判中の事件の相談ならびに同一内容についての再度の相談は応じられません。

詳しくは 南房総市社会福祉協議会 ☎44-3577

発行・編集

社会福祉法人 南房総市社会福祉協議会

◆本所 南房総市千倉町瀬戸 2705-6

☎44-3577 ㊚44-3542

- ◆とみうら福祉サポートセンター ☎33-4565
- ◆とみやま福祉サポートセンター ☎57-2926
- ◆みよし福祉サポートセンター ☎36-2276
- ◆しらはま福祉サポートセンター ☎30-5122
- ◆ちくら福祉サポートセンター ☎44-3541
- ◆まるやま福祉サポートセンター ☎46-2200
- ◆わだ福祉サポートセンター ☎47-3390
- ◆ホームヘルプサービス ☎29-5021
- ◆ケアプランセンター ☎29-5022

みてみて!



facebook



twitter